

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2012年
5月9日(水)
第70号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

「社会保障と税の一体改革」関連法審議入り 「新システム」関連法は10日

消費税の大増税を中核とした「社会保障と税の一体改革」関連法は、衆議院本会議において5月8日に年金改革関連二法案、10日に「子ども・子育て新システム」関連三法案、11日に消費税関連二法案が各々趣旨説明と質疑を行い審議入りします。16日からは衆議院特別委員会で本格議論に入っていきます。特別委員会は45人で構成されていますが、消費税増税、年金、保育とまったく異なる課題について、まともに議論が出来るのか大いに疑問であり、審議に対して働きかけを強めることが重要となっています。

野田首相は「(消費税増税を)命をかけて成立をめざす」とし、自民・公明党との談合のもとに成立をねらっていますが、消費税増税反対は国民の60%に達し、野田内閣の支持率は20%、不支持は60%に達しています。国民との矛盾の激化は不可避です。また「新システム」に自民党が反対しているも、消費税増税、「新システム」とも、まったく先行きが分からない状況です。

このようなも、国民の運動が極めて重要となっており、保育の分野では5・13保育大集会、5・14国会行動を全力で成功させることが、その後の運動の跳躍台となっています。

東京自治労連保育闘争委員会開催

5月8日、東京自治労連第28回保育闘争委員会を開催しました。「新システム」をめぐる国会情勢の議論の上に、当面、全力で5・13保育大集会と5・14国会行動の成功をめざすこと、今後提起される委員会審議に向けた傍聴・国会前行動などを休暇・月金の振り替え休暇・OBの参加・単組執行部からの参加などで全力で強化すること、署名宣伝活動の強化、国会議員要請の具体化(公的保育の実行委で)、民間保育園訪問への挑戦(全部でなくとも一定数の訪問と郵送含めて。東京自治労連組織の無い地域での郵送)、5・27自治体に働く保育労働者の東京集会の成功をめざすことなどを確認しました。次回は6月5日。

豊島、3回連続の保育園門前宣伝実施

豊島区職労保育園支部では、「新システム」に対する春闘期の行動計画として3月下旬、加藤久忠氏を講師に2回の学習会を行いました。年度末の忙しい時期でしたが、延べ90名が参加し「とても判りやすかった、周りにも広げていきたい」と好評でした。

4月には、3週連続保育園門前で「こども」配布にも取り組みました。(豊島区の公立保育園で働く職員で構成されている職員労働組合が発行している保護者向けのニュースです。)

1回目は、6月に保育園支部主催で計画している猪熊弘子さんの「こども・子育て新システム」学習会のお知らせを掲載しました。2回目は署名のお願いと、「みんなの保育フェスティバル in 明治公園」のお知らせを掲載しました。3回目は4月中に発行できませんでしたが、署名協力への再度のお願い「署名はお済みですか」を中心に5月中旬に配布予定です。3回のビラには、全国保育園団体連絡会学習資料のカットを使わせていただきました。新年度の忙しい時期ですが、署名を広げていきたいと各園で取り組んでいます。

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください】